

国内・国際	政治・行政	財政・経済	社会・文化	その他
<p>1. 7 昭和天皇崩御。翌8日、皇太子昭仁即位、年号を平成と改号。（『戦後史年表』）</p> <p>2. 24 昭和天皇大喪の礼。（『戦後史年表』）</p> <p>4. 1 消費税（税率3%）がスタート。（『戦後史年表』）</p> <p>6. 3 竹下内閣総辞職。宇野宗佑内閣発足。（『神奈川新聞』）</p> <p>6. 4 中国で天安門事件。民主化を要求する民衆を人民解放軍が武力制圧。（『戦後史年表』）</p> <p>7. 23 参議院選挙で与野党が逆転。（『戦後史年表』）</p> <p>8. 10 宇野内閣退陣、海部俊樹首相就任。（『神奈川新聞』）</p> <p>8. - 幼女連続誘拐殺人事件が発覚。（『戦後史年表』）</p> <p>11. 9 ベルリンの壁、事実上の崩壊。（『戦後史年表』）</p> <p>この年、リクルート事件が発覚、贈収賄容疑で政官財界から多数を逮捕起訴。（『戦後史年表』）</p>	<p>1. 26 指紋押なつてを拒否していた外国籍の被告に、横浜地裁は罰金2万円執行猶予2年の判決。（『神奈川新聞』）</p> <p>1. 30 任期満了に伴う相模原市長選で、現職の館盛静夫が4選。（『神奈川新聞』）</p> <p>2. 6 任期満了に伴う小田原市長選で、現職の山橋敬一郎が再選。（『神奈川新聞』）</p> <p>3. 10 横浜市議会で「消費税の廃止を求める意見書」を賛成多数で可決。全国の政令指定都市議会で廃止の意見書が可決されたのは初。（『神奈川新聞』）</p> <p>3. 17 県会定例会は公共料金への消費税転嫁を実施するための関連34条例改正案を可決。（『神奈川新聞』）</p> <p>5. 1 横須賀市に「平成町」誕生。（『新横須賀市史 別編 年表』）</p> <p>6. 2 横浜市政100年、開港130年記念式典が行われる。（『神奈川新聞』）</p> <p>6. 4 任期満了に伴う三浦市長選で、現職の久野隆作が無投票当選。（『神奈川新聞』）</p> <p>6. 12 任期満了に伴う横須賀市長選で、現職の横山和夫が大差で5選。（『神奈川新聞』）</p> <p>6. 16 神奈川、東京、千葉、埼玉、横浜、川崎の6都県市首脳会議（首都圏サミット）は、地球の環境保全を目指す「首都圏環境宣言」を発表。（『神奈川新聞』）</p> <p>7. 23 参院選で社会党新人小林正、自民党新人の石渡清元が当選。（『神奈川新聞』）</p> <p>9. 3 任期満了に伴う松田町長選で、現職の平野興二が再選。（『神奈川新聞』）</p> <p>10. 23 任期満了に伴う鎌倉市長選で、現職の中西功が再選。（『神奈川新聞』）</p> <p>11. 19 川崎市の伊藤前市長の辞任に伴う市長選挙で、後任に指名されていた前助役の高橋清前助役が初当選。（『神奈川新聞』）</p> <p>12. 26 横浜市の細郷市長が病気のため4選不出馬を表明。（『神奈川新聞』）</p>	<p>3. 11 JR東海道線に「快速アクティー」が登場。東海道線の輸送力が強化。（『茅ヶ崎市史 現代 9』）</p> <p>3. 17 JR桜木町駅、初代横浜駅の三角形の屋根をシンボルとして残し新駅舎開業。（『区制50周年記念 横浜西区史』）</p> <p>3. 29 MM21線の整備主体となる第三セクター、横浜高速鉄道会社が発足。（『神奈川新聞』）</p> <p>3. 31 横浜アリーナが開業披露式典。当時国内最大の多目的イベントホール。翌1日開業。（『西洋スポーツ事始め』）</p> <p>4. 1 国土庁が1月1日現在の地価を公示。県内の年間上昇率は14年ぶりに下落。下落率は7.6%と全国一。（『神奈川新聞』）</p> <p>4. - YAT（横浜航空貨物ターミナル）の通関業務開始。航空輸出入貨物の通関、成田空港への輸送取次を行う。 (<a href="http://vatac.com/profile.html#history">http://vatac.com/profile.html#history</a> 2023.03.12参照)</p> <p>4. 30 「マイカル本牧」がオープン。（『神奈川新聞』）</p> <p>5. 19 「かながわ情報ネットワーク推進協議会」（K-NET推進協議会）が発足。情報推進ネットワークづくりとその拠点整備めざす。（『神奈川新聞』）</p> <p>6. 16 JR横須賀線開通100周年行事を開催。（『横須賀線を訪ねる』）</p> <p>7. 5 第三セクター方式の新都市交通・シーサイドラインが開通。（『横浜市高速鉄道建設史 2』）</p> <p>7. 6 寒川町の会社社長、東南アジアなどから労働者を雇用、工場などに単純労働のために派遣していた疑いで書類送検。（『神奈川新聞』）</p> <p>7. 17 横須賀信用金庫と鎌倉信用金庫が合併し「湘南信用金庫」としてスタート。県内の業界順位では川崎、横浜に続いて第3位に。（『いい風5年 SHONAN』）</p> <p>7. 18 横須賀市水道局が道路街区や水道管などの図面をコンピュータ化したマッピングシステム「マビネス」を自治体として初めて稼働。（『水の旅 横須賀水道100年史』）</p> <p>8. 7 横浜市が昭和63年度の大気汚染状況を発表。多くの地域で二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学スモッグの値が基準値を越す。（『神奈川新聞』）</p> <p>9. 27 斜張橋では世界有数規模（860m）の横浜ベイブリッジと空中散策路スカイウォークが開通。（『神奈川新聞』）</p> <p>10. 12 日系ブラジル人ら2200人余りを、単純労働の工員として県内はじめ1都10県の企業に派遣していた横浜市瀬谷区の社長ら幹部を逮捕。（『神奈川新聞』）</p> <p>10. 16 株式会社湘南国際村協会の設立総会を開催。（『新横須賀市史 別編 年表』）</p> <p>11. 6 かながわサイエンスパーク（KSP、川崎市高津区）開設記念式典。先端技術の創造拠点を目指した。（『神奈川新聞』）</p> <p>12. 22 京浜急行が株式会社京急百貨店を設立。（『神奈川新聞』）</p>	<p>1. 24 「かながわの美林50選」を選定。（『かながわの美林50選』）</p> <p>3. 11 横浜中華街の「善隣門」が建て替え、落成式。（『神奈川新聞』）</p> <p>3. 24 「宇宙と子供たち」をテーマに横浜博覧会（YES'89）が開幕。（『神奈川新聞』）</p> <p>3. 25 横浜マリタイムミュージアム（現・横浜みなと博物館）開館。（『横浜みなと博物館30年のあゆみ』）</p> <p>3. 28 横浜市金沢区に金沢動物園正式オープン。（『図説かなざわの歴史』）</p> <p>4. 1 平塚市土屋に神奈川大学平塚キャンパス開設。（『神奈川新聞』）</p> <p>4. 1 横浜市緑区三保町に東洋英和女学院大学が開校。（『東洋英和女学院120年史』）</p> <p>4. 11 川崎市高津区の竹林で約1億円が、16日には9000万円の札束が発見。翌月に持ち主の会社社長が事情説明し、脱税した現金を放置した事実が判明。（『神奈川新聞』）</p> <p>5. 4 横浜博覧会が当日の入場者数28万1205人を記録。地方博覧会の1日の最多入場者記録を更新。（『神奈川新聞』）</p> <p>6. 24 国民的歌手の美空ひばりさんが死去。（『戦後史年表』）</p> <p>7. 18 湘南台文化センターが開館。（『市民が歩んだ80年「藤沢らしさ」を求めて』）</p> <p>7. 25 「日本の都市公園100選」が選定。県内からは東高根森林公園、七沢森林公園、山下公園、港の見える丘公園、三笠公園、秦野中央運動公園が選ばれる。（『日本の都市公園100選』）</p> <p>8. 10 海洋技術センターの「しんかい6500」が水深6527mの有人潜水世界記録を樹立。（『新横須賀市史 別編 年表』）</p> <p>9. 16 全日本テニス選手権で谷澤英彦（相模工業大学附属高校）がストレート勝ちで史上最年少チャンピオンに。（『神奈川新聞』）</p> <p>10. 1 横浜博覧会が閉幕。総入場者数は1333万人。（『神奈川新聞』）</p> <p>11. 3 横浜美術館が正式開館。 (<a href="https://yokohama.art.museum/about/index.html">https://yokohama.art.museum/about/index.html</a> 2023.03.05参照)</p> <p>11. 3 日本画家の片岡球子さんに文化勲章授与。（『神奈川新聞』）</p> <p>11. 15 横浜弁護士会所属の坂本堤弁護士一家3人が11月3日から行方不明となっていた事件が公開捜査。のちにオウム真理教幹部らに殺害されていたことが判明。（『神奈川新聞』）</p> <p>12. 24 県内交通事故死者が553人を記録。昭和50年以來の最悪に。（『神奈川新聞』）</p>	<p>1. 18 防衛施設庁と在日米軍司令部は、厚木基地で続けられていた夜間離着陸訓練を硫黄島で暫定的に実施することで合意。（『神奈川の米軍基地』）</p> <p>2. 15 日米合同委員会が厚木基地・キャンプ座間にて計320戸の米軍家族住宅増設を決定。（『神奈川新聞』）</p> <p>4. 17 横浜防衛施設局が、池子米軍家族住宅建設にあたり当初予定していた協議抜きで造成・着工するため県環境影響評価（アセスメント）変更を県に提出。翌月、受理される。（『神奈川新聞』）</p> <p>7. 19 逗子市の池子米軍家族住宅建設用地で弥生時代の遺跡が発見。県は調査へ。（『神奈川新聞』）</p> <p>8. 1 厚木基地騒音対策協議会（知事と基地周辺7市長）が、夜間離着陸訓練の代替訓練施設の早期完成を国に要請。（『神奈川新聞』）</p> <p>9. 19 横浜防衛施設局は池子米軍家族住宅建設の本工事に着手。県教委の埋蔵文化財現状保存の必要なしとの判断受け。翌日、富野市長が工事中止の命令書。（『神奈川新聞』）</p> <p>10. 2 米の原潜パーミットが横須賀市に事前通告なく出港。（『神奈川新聞』）</p> <p>11. 26 逗子市の「池子の森を守る全国大会」が集会。社会党の土井たか子委員長ら約6000人が参加。（『神奈川新聞』）</p> <p>12. 13 逗子市は池子の仮設調整池設置工事中直後に出していた工事禁止の仮処分申請を本訴に切り替え。（『神奈川新聞』）</p> <p>12. 19 米空母艦載機の夜間離着陸訓練に硫黄島を暫定使用する問題で、防衛施設庁と地元が基本的に合意。（『神奈川新聞』）</p>

国内・国際	政治・行政	財政・経済	社会・文化	その他
<p>1. 13 第1回大学入試センター試験が実施。（『戦後史年表』）</p> <p>2. 18 第39回総選挙で自民が安定多数。（『戦後史年表』）</p> <p>2. 28 第二次海部内閣成立。（『戦後史年表』）</p> <p>4. 1 太陽神戸三井銀行誕生。（『戦後史年表』）</p> <p>8. 2 イラク軍がクウェートに侵攻。（『戦後史年表』）</p> <p>10. 3 東西ドイツが統一。（『戦後史年表』）</p> <p>11. 12 新天皇「即位の礼」。（『戦後史年表』）</p> <p>11. 17 長崎県雲仙普賢岳が200年ぶりに噴火。（『戦後史年表』）</p> <p>12. 2 ソ連ソユーズ宇宙船で、日本人初の宇宙飛行。（『戦後史年表』）</p>	<p>2. 15 横浜市の細郷道一市長が3期目の途中で死去。（『調査季報106号』）</p> <p>2. 18 第39回総選挙で自民が1増やし9議席、社会は2増やし6議席。公明、進歩は維持。（『神奈川新聞』）</p> <p>2. 20 前町長の死去に伴う開成町長選で、前助役の山本久雄が無投票当選。（『神奈川新聞』）</p> <p>3. 16 都道府県レベルで初の県個人情報保護条例案を県会が全会一致で可決。10月1日から施行。（『神奈川新聞』）</p> <p>3. 26 任期満了に伴う逗子市議選で、池子米軍家族住宅建設反対派15人が全員当選し過半数を制す。（『神奈川新聞』）</p> <p>4. 2 鎌倉市が庁内で再生紙の活用を開始。（『神奈川新聞』）</p> <p>4. 9 前市長の死去に伴う横浜市長選で、自・公・民推薦の高秀秀信が初当選。（『神奈川新聞』）</p> <p>7. 1 真鶴町長選で前町議の三木正一が初当選。（『神奈川新聞』）</p> <p>7. 11 川崎市で全国初の市民オンブズマン条例公布。11月から施行へ。（<a href="https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/59-1-4-0-0-0-0-0-0-0.html">https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/59-1-4-0-0-0-0-0-0.html</a> 2023.03.05参照）</p> <p>7. 17 県開発審査会は湘南国際村基盤整備事業計画を承認。（『神奈川新聞』）</p> <p>7. 22 病氣辞任に伴う山北町長選は前町会議長の田代圭司が当選。（『山北町史 通史編』）</p> <p>10. 21 任期満了に伴う中井町長選で、現職の石塚武典が接戦の末3選。（『神奈川新聞』）</p> <p>11. 19 任期満了に伴う二宮町長選で前助役の西山喜徳郎が初当選。（『神奈川新聞』）</p> <p>11. 27 任期満了に伴う大井町長選で、現職の瀬戸洋二が無投票で4選。（『神奈川新聞』）</p> <p>12. 3 大磯町長選で、学習塾経営の石井宣和が現職を破り初当選。（『神奈川新聞』）</p> <p>12. 26 第2次神奈川計画改定実施計画案が答申。生活と都市の質向上と世界の平和への貢献が大目標に。（『神奈川新聞』）</p> <p>この年 国勢調査によると、県人口が798万人に。老年人口が前回（1985年）比26%増、外国人人口53.8%増。（『神奈川新聞』）</p>	<p>1. 22 湘南国際村計画で三井不動産が前田川の保全に配慮した環境影響予測評価（アセスメント）書を県に提出。（『神奈川新聞』）</p> <p>2. 13 MM21線の事業計画について横浜市の野毛地区住民が事業免許取り消し等の行政訴訟。（『神奈川新聞』）</p> <p>2. 14 横浜市中区寿町で、外国人労働者の派遣会社が摘発。経営者、従業員、不法労働者を逮捕・書類送検。（『神奈川新聞』）</p> <p>3. 20 首都高速神奈川3号狩場線が全通。（『神奈川新聞』）</p> <p>3. 30 京王相模原線（橋本駅～南大沢駅）が開通。JRに乗り入れ開始。（『京王線沿線の近現代史』）</p> <p>4. 1 平塚市のケーブルテレビ局・湘南ケーブルネットワークが放送開始。（<a href="http://www.scn-net.jp/info/philosophy.html">http://www.scn-net.jp/info/philosophy.html</a> 2023.03.05参照）</p> <p>4. 4 相鉄いずみ野線いずみ野へいずみ中央駅2.2キロが開通。（『神奈川新聞』）</p> <p>5. 1 東京国税局の公示によると、平成元年度分の県内の高額納税者は1万2726人。うち1億円を超えたのは348人。（『神奈川新聞』）</p> <p>5. 26 横浜、川崎、横須賀地区のタクシー運賃値上げ。初乗り中型540円。（『神奈川新聞』）</p> <p>7. 10 米大手玩具販売チェーン・トイザラスの日本法人が相模原への出店計画を市などに提出。大規模小売店舗法の規制緩和による国内出店第一号。（『神奈川新聞』）</p> <p>7. 27 横浜港「南本牧ふ頭」が起工。（『神奈川新聞』）</p> <p>8. 27 県環境部による県内地下水の水質推定結果で全測定箇所33%から発がん物質が検出。（『神奈川新聞』）</p> <p>9. 25 小田急相模大野駅前に伊勢丹相模原店が開店。（『神奈川新聞』）</p> <p>10. 19 藤沢・江の島沖でこの夏に捕獲された奇形魚が高濃度の有機スズ化合物を含んでいたことが判明。（『神奈川新聞』）</p> <p>10. 20 地域情報通信ネットワーク「K-NET」の事業化を進める株式会社「ケイネット」を設立。（『神奈川新聞』）</p> <p>10. 22 長洲知事は県が三井不動産と進めている湘南国際村の開発を許可。（『神奈川新聞』）</p> <p>11. 8 MM21地区24街区への進出企業グループに住友・東急グループが当選（現クイーンズスクエア横浜）。（『神奈川新聞』）</p> <p>11. 26 新横須賀トンネル開通式。（『新横須賀市史 別編 年表』）</p> <p>12. 6 寒川町に寒川ケーブルテレビ会社（CATS）が開局。（『寒川町史 13 別編 事典・年表』）</p> <p>12. 13 横浜市下水道局がNKKと共同で汚泥から紙を試作することに成功したと発表。（『神奈川新聞』）</p>	<p>1. 16 「かながわの建築物100選」が選定。（『「かながわの建築物100選」写真集』）</p> <p>1. 17 横浜駅東西自由通路北口改札近くに「赤い靴」像登場、除幕式。（『区制50周年記念 横浜西区史』）</p> <p>3. - 「さくら名所100選」に県内から横浜市の県立三ツ池公園、小田原市の小田原城址公園・城山公園、横須賀市の衣笠山公園を選定。（<a href="https://www.sakuranokai.or.jp/wp-sakuranokai/wp-content/themes/sakuranokai/images/2022/09/sakura_100sen_202209.pdf">https://www.sakuranokai.or.jp/wp-sakuranokai/wp-content/themes/sakuranokai/images/2022/09/sakura_100sen_202209.pdf</a> 2022.09.05参照）</p> <p>3. 30 全国一般公募により選定する「日本の滝百選」に、県内から山北町の洒水の滝が選ばれる。（『山北町史 通史編』）</p> <p>4. 5 藤沢市遠藤の慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスが開校。（『市民が歩んだ80年「藤沢らしさ」を求めて』）</p> <p>4. 11 茅ヶ崎市に文教大学国際学部が開校。（『茅ヶ崎市史 現代 9』）</p> <p>4. 24 県立図書館、県内の市町村図書館をつなぐ情報ネットワーク「KL-NET」を一部稼働。発注・受入・データ整備・検索が可能に。（『区制50周年記念 横浜西区史』）</p> <p>4. 29 海と人との共生を合言葉に相模湾アーバンリゾート・フェスティバル'90（SURF'90）が開幕。（『神奈川新聞』）</p> <p>7. 10 神奈川朝鮮中高級学校が県高体連への加盟を申請。（『神奈川新聞』）</p> <p>7. 20 かながわ国際交流フェスティバル'90（INEK'90）が開幕。姉妹都市の代表を招きシンポジウム等開催。（『神奈川新聞』）</p> <p>7. 23 南足柄市広町に県立足柄ふれあいの村がオープン。（『神奈川新聞』）</p> <p>8. 4 横浜スタジアムの横浜大洋ー中日17回戦で5時間51分のプロ野球最長試合時間を記録。（『神奈川新聞』）</p> <p>8. - 横浜山岳協会登山隊が北西壁ルートからのK2初登頂に成功。（『日本明解登山史』）</p> <p>8. 10 よこはまコスモワールド竣工式。（『区制50周年記念 横浜西区史』）</p> <p>8. 14 横浜中華街の関帝廟が再建、開廟式。（<a href="https://yokohama-kanteibyoo.com/kuan-ti-miao/">https://yokohama-kanteibyoo.com/kuan-ti-miao/</a> 2023.03.05参照）</p> <p>8. 24 横浜地方気象台で午前2時49分、最低気温27.9度を記録。横浜では史上最高の最低気温に。（『神奈川新聞』）</p>	<p>6. 7 厚木基地の夜間離着陸訓練に対し県と周辺7市は米軍や国の関係機関に抗議と即時中止を要請。（『神奈川新聞』）</p> <p>6. 14 逗子市会で池子米軍住宅反対と弾薬庫跡地の即時全面返還の意見書提出を求める請願を採択。（『神奈川新聞』）</p> <p>6. 21 千葉東方太平洋上で米空母ミッドウェーが爆発事故を起こしたことに對し、横須賀市長が原因の究明と公表、再発防止の徹底を文書で外相に申し入れ。（『新横須賀市史 別編 年表』）</p> <p>6. 26 米海軍厚木航空施設司令部は6日間の夜間離着陸訓練を実施と通告。（『神奈川新聞』）</p> <p>6. 29 20日に千葉東方太平洋上で爆発事故を起こした米空母ミッドウェーが、事故原因など詳細を明らかにしないまま横須賀から出港。（『神奈川新聞』）</p> <p>8. 13 米海軍厚木航空施設司令部は県と周辺7市に9日間の夜間離着陸訓練実施を通告。（『神奈川新聞』）</p> <p>8. 25 米海軍横須賀基地を母港とする4番目のトマホーク艦・駆逐艦ヒューイットが入港。（『神奈川新聞』）</p> <p>11. 12 厚木基地近くの綾瀬市の雑木林内で迫撃弾を発射する金属製の筒4本が発見。（『神奈川新聞』）</p>

国内・国際	政治・行政	財政・経済	社会・文化	その他
<p>1. 17 湾岸戦争が勃発。（『戦後史年表』）</p> <p>4. 6 イラクの停戦決議を受け、湾岸戦争終結。（『戦後史年表』）</p> <p>4. 26 海上自衛隊の掃海艇がペルシャ湾へ派遣される。（『戦後史年表』）</p> <p>7. 1 ワルシャワ条約機構解体。（『戦後史年表』）</p> <p>11. 5 海部内閣退陣。宮澤喜一首相が就任。（『戦後史年表』）</p> <p>11. 27 衆院国際平和協力委でPKO協力量案強行採決。（『戦後史年表』）</p> <p>12. 26 ソヴィエト連邦が解体。独立国家共同体（CIS）創設。（『戦後史年表』）</p>	<p>2. 5 任期満了に伴う清川村長選は現職の城所章が無投票当選。（『神奈川新聞』）</p> <p>2. 17 任期満了に伴う厚木市長選で現職の足立原茂徳が4選。（『神奈川新聞』）</p> <p>2. 28 県統計課のまとめによると2月1日現在の県人口が800万人を突破した。（『神奈川新聞』）</p> <p>3. 12 県はハイテク公害防止に「県化学物質環境安全管理指針」を発表。（『神奈川新聞』）</p> <p>3. 18 横浜市は「農薬使用にかかわる環境保全協定」を市内5か所のゴルフ場経営者と結んだ。（『神奈川新聞』）</p> <p>4. 1 海岸美化センターが設立。県と相模湾岸13市町の事業で、海岸の計画的な清掃、ごみ収集、運搬、処分を行うものとした。（『茅ヶ崎市史現代 9』）</p> <p>4. 7 知事選、県議選、横浜・川崎市議選が投・開票。長洲知事は5選。（『神奈川新聞』）</p> <p>4. 14 大和市長選が告示、現職の井上孝俊が無投票当選。（『神奈川新聞』）</p> <p>4. 21 統一地方選挙で、湯河原町長に丸山春夫、南足柄市長に鈴木佑がそれぞれ初当選。平塚市長に石川京一が4選、茅ヶ崎市長に根本康明が3選。（『茅ヶ崎市史 現代 9』）</p> <p>6. 17 首都圏サミットが開かれ、11月より「ノーカーデー」を実施することで一致。（『神奈川新聞』）</p> <p>7. 1 秦野市がペットボトルの回収を始める。全国初。（『神奈川新聞』）</p> <p>8. 15 4月に成立した救命救急士法を受け、横浜市が市内16区の全消防署に救急救命士を配置することを決定。翌年より業務開始。（『神奈川新聞』）</p> <p>8. 27 任期満了に伴う寒川町長選が告示、現職の藤沢賢一が無投票3選。（『神奈川新聞』）</p> <p>9. 18 横浜市会本会議は消費税を公共料金に転嫁する48議案を可決。（『神奈川新聞』）</p> <p>10. 3 横須賀市が簡易包装推進協議会を設置。（『新横須賀市史 別編 年表』）</p> <p>10. 8 県会で国際平和維持活動（PKO）協力量案の早期成立を求める意見書が可決。都道府県レベルでは初。（『神奈川新聞』）</p> <p>11. 12 横浜市教育委員会の調査で、市内の小中学校に通う外国籍の児童生徒は5月現在で1748人に上ることが判明。過去最高。（『神奈川新聞』）</p> <p>12. 18 横須賀市が大気汚染防止対策の一環として電気自動車一台を導入。（『新横須賀市史 別編 年表』）</p> <p>この年、県女性問題協議会の報告書に基づき、県の施設や組織の名称で「婦人」としていたものを「女性」に改称。勤労婦人会館を勤労女性会館とする等。（『神奈川新聞』）</p>	<p>1. 22 東京国税局が発表した県内最高路線価の平均引き上げ率が17.8%と過去4年を下回る。（『神奈川新聞』）</p> <p>3. 16 小田急電鉄の特急がJR御殿場線沼津まで乗り入れ、JR東海に直通。（『小田急線沿線の近現代史』）</p> <p>3. 16 県内唯一の未電化線だった相模線が電化。（『寒川町史 13 別編 事典・年表』）</p> <p>3. 19 横浜～成田空港間を結ぶJR成田エクスプレス（NEX）が開通。（『横須賀線を訪ねる 120年歴史の旅』）</p> <p>3. 26 横浜横須賀道路釜利谷ジャンクション～並木インタチェンジ間が開通。（『図説かなざわの歴史』）</p> <p>4. 24 県内地価動向調査結果によると県内地価は1年9か月ぶりに下落。（『神奈川新聞』）</p> <p>4. 25 ショッパーズプラザ横須賀（現・コースカベイサイドストアーズ横須賀）がオープン。（『新横須賀市史 別編 年表』）</p> <p>5. 1 県内の高額納税者が1万5423人と公表、うち1億円を超えたのは421人と過去最高。（『神奈川新聞』）</p> <p>5. 21 横浜税関発表の全国港別輸出入額統計で、横浜は成田空港にトップの座を明け渡し3位に転落。（『神奈川新聞』）</p> <p>7. 17 湘南信金と茅ヶ崎信金が対等合併、湘南信用金庫が発足。預金量が全国30位から25位に。（『いい風5年 SHONAN』）</p> <p>8. 22 MM21地区で横浜国際平和会議場（パシフィコ横浜）会議センターが開業。10月13日に展示ホールが開業。（『区制50周年記念 横浜西区史』）</p> <p>9. 17 三浦信用金庫と藤沢信用金庫が合併し三浦藤沢信用金庫として業務開始。（『新横須賀市史 別編 年表』）</p> <p>9. 19 運輸審議会は神奈中、京急、江ノ島電鉄、相鉄のバス運賃の7.0～8.6%値上げを国に答申。10月1日から実施。（『神奈川新聞』）</p> <p>9. 27 横浜・川崎両市は10月発行予定の市場公募債の引き受けに証券大手4社（野村、大和、日興、山一）を除外。（『神奈川新聞』）</p> <p>10. 30 MM21地区でパシフィコ横浜前海上に湖の干満に合わせて上下する「ぶかりさん橋」が完成。翌日オープン。（『区制50周年記念 横浜西区史』）</p> <p>11. 19 宮ヶ瀬ダム本体の定礎式。（『神奈川新聞』）</p> <p>この年、県環境部の県内大気汚染状況調査で、二酸化窒素の平均濃度が過去10年間で最悪となる。（『神奈川新聞』）</p>	<p>1. 18 「かながわの橋100選」が選定。（『かながわの橋100選』）</p> <p>3. 2 神奈川朝鮮高級学校軟式野球部が、神奈川県高野連加盟を認められる。（『神奈川新聞』）</p> <p>3. 16 県立幼稚園として最後の2園だった上溝幼稚園と平塚江南幼稚園が最後の卒園式。（『神奈川新聞』）</p> <p>3. 25 平塚市西八幡に平塚市美術館が完成。会館記念式典。（『神奈川新聞』）</p> <p>4. 16 県立図書館情報ネットワーク・システム「KL-NET」が本格稼働。貸出・返却や館内での予約が可能に。（『神奈川県立図書館・音楽堂40年の歩み』）</p> <p>4. 28 神奈川県朝鮮中高級学校軟式野球部が全国最初に公式戦（県内大会）初出場。（『神奈川新聞』）</p> <p>5. 14 伊勢原市の東海大学病院で4月、末期がんの患者に塩化カリウムの静脈注射をするなどして「安楽死」をさせていたことが明らかに。（『神奈川新聞』）</p> <p>5. 15 関東学院大学の小田原キャンパス（小田原市荻窪）が開校。（『小田原市史 別編 年表』）</p> <p>5. 15 久里浜緑地に100万本のポピーの花咲く広場がオープン。（『新横須賀市史 別編 年表』）</p> <p>7. 18 県とユネスコなどが国際生態学センター計画を正式決定。5年度中に財団設立、6年度に湘南国際村に開設予定。（『神奈川新聞』）</p> <p>8. 3 横浜市中区の中華街で38年ぶりに「関帝誕祭」が復活。（『神奈川新聞』）</p> <p>この年、県内交通事故死者数が494人の全国ワースト5位を記録。（『神奈川新聞』）</p>	<p>1. 30 米海軍厚木航空施設司令官・横浜防衛施設局長・綾瀬市長・大和市長からなる厚木基地地域連絡協議会が設置される。（『綾瀬市史 7 通史編 近現代』）</p> <p>2. 8 逗子市池子の米軍家族住宅建設予定地で発掘のシロウリガイ化石群の取扱いで、一部を移転保存し他は当初の計画通りとすることを決定。（『神奈川新聞』）</p> <p>2. 15 富野逗子市長が国を相手に池子米軍家族住宅建設工事禁止を求めている民事訴訟の判決で、横浜地裁は市側の請求を退ける。後に市側はこれを不服とし東京高裁に控訴。（『神奈川新聞』）</p> <p>4. 17 米空母ミッドウェー随伴艦4隻が湾岸地域から横須賀基地に帰港。（『神奈川新聞』）</p> <p>4. 20 横浜防衛施設局は逗子市池子の仮調整池の工事を完了、造成工事へ。（『神奈川新聞』）</p> <p>6. 10 ミッドウェー艦載機による夜間離着陸訓練が10か月ぶりに厚木基地で開始。（『神奈川新聞』）</p> <p>7. 23 米海軍原子力潜水艦ロサンゼルスとバサデナが横須賀基地に入港、原子力艦船入港は通算400回に。（『神奈川新聞』）</p> <p>8. 5 米空母ミッドウェー随伴艦による夜間離着陸訓練が初めて硫黄島施設で実施。（『神奈川新聞』）</p> <p>8. 28 逗子・池子米軍家族住宅建設予定地一部の市返還を求めた住民訴訟で、横浜地裁は住民側の請求を棄却。（『神奈川新聞』）</p> <p>9. 11 米空母インディペンデンスが横須賀基地に入港。（『神奈川の米軍基地』）</p> <p>10. 10 米空母インディペンデンス艦載機による初の夜間離着陸訓練が厚木基地で行われる。（『神奈川新聞』）</p>

国内・国際	政治・行政	財政・経済	社会・文化	その他
<p>2. 7 ECの加盟国が欧州連合条約（マーストリヒト条約）に調印。（『戦後史年表』）</p> <p>3. 27 経済企画庁、公示地価が17年ぶりに下落と発表。（『戦後史年表』）</p> <p>4. - ユーゴスラヴィアのボスニアヘルツェゴビナ共和国が内戦状態となり、ユーゴスラヴィア、クロアチア、スロヴェニア等に解体する。（『戦後史年表』）</p> <p>5. 20 永住在日外国人の指紋押捺制度廃止の改正外国人登録法が成立。（『戦後史年表』）</p> <p>6. 3 環境と開発に関する国際会議（地球サミット）がブラジル・リオデジャネイロで開催。14日に「リオ宣言」「アジェンダ21」を採択。（『戦後史年表』）</p> <p>7. 1 山形新幹線（ミニ新幹線）「つばさ」が登場。（『戦後史年表』）</p> <p>9. 12 宇宙飛行士毛利衛が搭乗するスペースシャトル・エンデバー号が打ち上げ。（『戦後史年表』）</p> <p>11. 4 核兵器廃絶に向け第6回「国際非核自治体会議」がバシフィコ横浜で開催。7日に「カナガワ宣言」採択。（『神奈川新聞』）</p> <p>11. 13 環境庁はNOx削減のため大型ディーゼル車使用規制特別指定地域を決定。県内では県西北部の一部をのぞく26市町。（『神奈川新聞』）</p>	<p>2. 23 逗子市の92年度市職員採用試験一般事務職に横浜市鶴見区在住の在日韓国人が合格したことが明らかに。（『国籍条項・心の壁の撤廃まで』）</p> <p>3. 23 湯河原町議選でフィンランド出身で日本に帰化した弦念丸呈さんが初当選。（『神奈川新聞』）</p> <p>5. 1 川崎市が「分別ストックヤード」の設置基準を施行。新築などの大規模事業者に対し、廃棄ごみと資源ごみの排出・保管スペース確保を求める。（『神奈川新聞』）</p> <p>5. 3 「地域環境アジアNGOフォーラム」が、地球環境サミット・ブラジル会議に向けた神奈川宣言を採択。（『神奈川新聞』）</p> <p>5. 7 川崎市人事委員会が国籍を問わない臨時試験の実施、採用職種「国際」「経営情報」の新設、一部従来職種の門戸開放を決定。（『国籍条項・心の壁の撤廃まで』）</p> <p>5. 14 首都圏サミットが横浜で開催され東京湾の水質管理目標値設定と「地球環境保全首都圏アピール」を採択。（『神奈川新聞』）</p> <p>5. 15 横浜市は国籍を問わない専門職「国際」「経営」を新設、翌年度採用試験実施。（『国籍条項・心の壁の撤廃まで』）</p> <p>5. 24 前市長の死去に伴う小田原市長選で、前県議で保守系無所属の小沢良明が初当選。（『小田原市史 別編 年表』）</p> <p>5. 27 横浜市は東京電力と「先端技術産業環境保全政策暫定指導指針」に基づく環境保全協定を締結。同協定締結第一号。（『神奈川新聞』）</p> <p>6. 4 茅ヶ崎市が消防職を除く全職種で国籍条項を撤廃。（『茅ヶ崎市史 現代 9』）</p> <p>7. 5 綾瀬市長選挙が行われ、見上和由が当選。（『綾瀬市史 7 通史編 近現代』）</p> <p>9. 20 任期満了に伴う伊勢原市長選が投開票。元関東管区行政監察局長・堀江侃が現職を破り初当選。（『伊勢原市史 通史編 近現代』）</p> <p>10. 25 任期満了に伴う箱根町長選が投開票。前助役・小川欣一（無所属新人）が初当選。（『神奈川新聞』）</p> <p>10. 28 川崎市は市職員採用で高卒一般職についても門戸開放し、国籍を問わない「情報処理職」を新設。（『神奈川新聞』）</p> <p>11. 8 任期満了に伴う逗子市長選が投開票。米軍家族住宅建設反対派の市議・沢光代が初当選。（『神奈川新聞』）</p> <p>11. 26 相模川水系の水質保全のため山梨、神奈川県水質保全連絡会を設置。（『神奈川新聞』）</p> <p>この年、川崎市が「環境基本条例」を制定・公布。「自動車公害防止計画」「先端技術産業環境対策指針」等を定め、環境汚染防止対策を推進。（『公害防止条例の研究』）</p>	<p>1. 23 県西部地域のバス3社の運賃値上げを運輸省が認可、2月1日から実施。（『神奈川新聞』）</p> <p>2. 28 寒川町倉見の相模川河川水から発がん性の疑いのあるトリクロロエチレンが基準値の2倍濃度で検出されたことが明らかに。（『神奈川新聞』）</p> <p>2. - 湘南信金で全国金融機関で初めての「パソコン通信システム」がスタート。（『いい風5年 SHONAN』）</p> <p>3. 26 1月1日時点の地価が公示され、県内で住宅地が前年比4.7%、商業地3.3%、ともにマイナスに転じた。（『神奈川新聞』）</p> <p>4. 16 京浜急行が「京急ウィング号」の運行開始。（『新横須賀市史 別編 年表』）</p> <p>4. 20 県百貨店協会は前月の横浜市内4百貨店売上高が前年比3.2%減で2年ぶりの前年割れと発表。（『神奈川新聞』）</p> <p>4. 20 JR東海道線「湘南ライナー」にオール2階建て車両が登場。（『茅ヶ崎市史 現代 9』）</p> <p>4. 22 MM21地区に建設中のランドマークタワーの64階までの鉄骨くみ上げ作業が完了し253メートルに。当時として高さ日本一に。（『神奈川新聞』）</p> <p>4. 25 厚木市・座間市両市間の相模川に架かる新しい座架依橋が開通。（『神奈川新聞』）</p> <p>5. 21 県公衆浴場入浴料金等協議会は6月から入浴料金を大人330円に値上げすることを答申。（『神奈川新聞』）</p> <p>6. 10 横浜〜ウラジオストク定期航路第一船、ロシアの貨客船ルーシ号が横浜に入港。（『神奈川新聞』）</p> <p>7. 20 横浜市は新港ふ頭赤レンガ倉庫活用方法を考える検討委員会を設置。（『神奈川新聞』）</p> <p>9. - 大船駅東口にルミネウイング営業開始。（<a href="http://www.lumine.co.jp/profile/history/">http://www.lumine.co.jp/profile/history/</a> 2023.03.05参照）</p> <p>9. 24 MM 2 1 地区に前年開業したバシフィコ横浜は初年度決算で16億7700万円の損失計上が見るみに。（『神奈川新聞』）</p> <p>9. 28 小田原信用金庫と足柄信用金庫が合併、さがみ信用金庫となる。（『小田原市史 別編 年表』）</p> <p>12. 21 川崎商工、横浜第一、川崎の3信用組合が対等合併の仮契約を結ぶ。正式合併は93年。（『神奈川新聞』）</p>	<p>1. 15 前年東海大学病院で起きた「安楽死」事件で県警と伊勢原署は元内科助手の同大医師を殺人容疑で書類送検。（『神奈川新聞』）</p> <p>1. 30 「かながわナショナル・トラスト運動」のみどり基金活用第1号が相模原・大和市境の野鳥生息地「つるま自然の森」に決まる。（『神奈川新聞』）</p> <p>4. 4 防衛大学校に初めて女子が入校。（『新横須賀市史 別編 年表』）</p> <p>7. 2 東海大「安楽死」事件で横浜地検は元助手を殺人罪で在宅起訴。（『神奈川新聞』）</p> <p>8. 28 横浜市建設の全国初・障害者のためのスポーツ文化複合施設、横浜ラポールが新横浜にオープン。（<a href="http://www.yokohama-rf.io/rapport/guide/index.html">http://www.yokohama-rf.io/rapport/guide/index.html</a> 2023.03.05参照）</p> <p>9. 12 学校週5日制がスタート。県、横浜、川崎市は児童、生徒対象に社会施設を無料開放。（『神奈川新聞』）</p> <p>9. 24 「かながわの公園50選」公表。（『かながわの公園50選 写真集』）</p> <p>9. 27 外国人女性の"駆け込み寺"女性の家サーラーが横浜市内に設立。（『神奈川新聞』）</p> <p>10. 3 第9回全国都市緑化かながわフェアが相模原市の県立相模原公園と市立相模原麻溝公園で開催。11月23日まで開催された。（『神奈川新聞』）</p> <p>10. 7 横浜大洋ホエールズとしての最終試合。翌月、横浜ベイスターズと改称。（『プロ野球70年史』）</p>	<p>2. 3 米海軍インディペンデンス艦載機による夜間離発着訓練が厚木基地で2カ月ぶりに始まる。（『神奈川新聞』）</p> <p>3. 23 池子米軍住宅建設予定地内の土地所有権をめぐり周辺住民が返還を求めた民事訴訟で、横浜地裁横須賀支部が住民側の請求を棄却。（『神奈川新聞』）</p> <p>4. 6 米海軍厚木基地で夜間離着陸訓練終了直後から、ジェット機の衝撃波による爆発音発生。13日に在日米軍が米軍機によるものと間接的に認める。（『神奈川新聞』）</p> <p>4. 8 米海軍厚木基地で空母インディペンデンス艦載機がアクロバット飛行。県と周辺7市は厚木基地に抗議。（『神奈川新聞』）</p> <p>6. 8 防衛施設庁は厚木基地騒音対策協の要望に対し飛行規制拡大、硫黄島への夜間離着陸訓練全面移転は困難と回答。（『神奈川新聞』）</p> <p>8. 26 綾瀬・大和・海老名・座間の4市と自治会連合会、航空機騒音の解消を求める要望書と署名簿（28万人分）を政府関係機関に提出。（『綾瀬市史 7 通史編 近現代』）</p> <p>10. 10 在日米海軍横須賀基地に駆逐艦オプライエンが配備。増強9年ぶり。（『神奈川新聞』）</p> <p>12. 21 厚木基地周辺住民が国を相手に夜間飛行差し止めや損害賠償を求めていた訴訟で、横浜地裁は総額1億1000万円の損害賠償のみを国に命じた。（『神奈川新聞』）</p>